

一般社団法人 えみし 愛海詩

Corporate Identity

- ◇ 文化的働きを促進し、北海道に貢献する。
- ◇ 職人、作家の特技を応援する。
- ◇ 各々の生活が心豊かになるよう、佳き出会いと学びを大切にする。

ガラス工房るん(兵庫県) 宮崎 英彦 作品展

恵巳 作品展

彩り豊かな輝き

7月29日～8月24日

彩遊の号 No.53

(一社)愛海詩
会報

令和7年7月22日発行

編集発行人／一般社団法人愛海詩
佐藤睦子

〒064-0821

札幌市中央区北1条西28丁目2番17号

TEL・FAX / (011) 613-1112

WEBSITE

<https://i-emishi.com/>

E-mail: issya@emishi-s.com

「続く道」

暑中お見舞い申し上げます。
暑い夏が巡って参りました。心身共に知恵と工夫で暑さに負けず、この夏を楽しくしたいと思います。気づけばもう、今年半分以上が過ぎ、夏の越の縁が折り返し地点を教えてくれました。気持ちも新たに皆様、一年の後半を迎えたスイッチは「オン」になっておりますでしょうか。
さて先月、二十八日の藤原美子氏の講演、私との対談、温度差はあるとしても皆様の喜びの中で納めることができました。今年の企画、一つの山を無事に越えられたことに安堵しています。心を寄せて下さった皆様、裏方でお支え下さった「チーム愛海詩」の方々、心より感謝申し上げます。何か物事を成す時は、どんな人でも自分一人の力だけでは難しく、周りにどれほど佳き人がいるか、ということが大切になります。そんな人達に支えられて、自分があることを忘れてはいけません。
そして休む間もなく、次の作品展へ歩を進めております。「ガラス工房るん」の作品展、いよいよ開催です。北の街に住む皆様にとって、作品が素敵な光と清涼剤のギフトのように思えること、間違いありません。どうぞお運び下さいませ。
この上半期の企画の数々は、一昨年の秋、昨年の冬、春に決まられたものです。(一社)愛海詩は、創立より二年、人員が減ったり、増えたりという、ゆれる波の中にあり、産みの苦しみのようなものを次々と越えて参りました。そんな中でも愛海詩の会員が少しずつ増えているのが嬉しと言います。
今年下半期は今一度、「愛海詩」の思いに照らし、再点検をする必要があります。俱に在る...ということでもあります。
(佐藤睦子)



(創作中の宮崎英彦氏)

プロフィール

宮崎英彦氏

- 一九八〇年生まれ
- 二〇〇〇年 東京ガラス工芸研究所卒業
- 二〇〇一年～二〇〇六年 彩ガラススタジオスタッフ・講師
- 二〇一〇年 第四八回 兵庫工芸展 入賞 (兵庫教育委員会賞)
- 二〇一一年 第四九回 兵庫工芸展 入賞 (兵庫教育委員会賞)
- 二〇一四年～二〇一七年 さんだクラブハウス非常勤講師

宮崎恵巳氏

- 一九七四年生まれ
- 二〇〇一年～二〇〇六年 彩ガラススタジオスタッフ・講師
- 二〇〇八年 兵庫県丹波篠山市にて「ガラス工房るん」設立
- 二〇一九年 工房内に「ギャラリー」彩の併設
- 二〇二三年 高島屋京都店 美術画廊にて夫婦二人展

「模様」作品展によせて

この度は、北海道札幌市にあるギャラリー「愛海詩」で作品展をさせていただける事、大変うれしく思います。
私達夫婦はガラス作家で、二〇〇八年に兵庫県丹波篠山市に「ガラス工房るん」を設立しました。くらしを彩るガラスをテーマに日々制作しており、ガラス(い)ろ素材を通して、ガラス本来の美しさであり、表現や技術の可能性を追い求め、作品作りと向き合っています。
そのついで地域の特産物の黒豆を染色剤としてガラスの原料に混ぜ合わせ、高温で溶かし込んで彩色した黒豆硝子を開発。その時々の黒豆特有の成分による美しい色彩に魅了され、一期一会の黒豆硝子が誕生しました。人の繋がりと、地域の恵みが生んだ黒豆硝子は、自分達作り手の新しい宝となりました。
歴史、風土、文化、そこに住んでいる人達との繋がりの中で、ガラス作家として自分達は何かできるか、いつも考えます。今回の作品展は黒豆、紅シリーズなど、心を込めて作った作品ばかりです。是非、ご覧下さい。



虹 グラス (横8cm×高さ9.5cm)
毎日使いたくなるグラスです。注いだものを虹と共にいただくような、優しく、心も体も育まれる「ガラス工房るん」ならではの器です。



虹 こぼれ種花器 白ラインなし (横7.7cm×高さ8.6cm)
同じ虹シリーズでもこの作品は白のラインがなく、よりクリアに感じられます。光を通すと色のグラデーションが美しい作品です。美しい色合い、虹色が季節の光に輝く。



虹 サンキャッチャー風丸花器 (横7cm×高さ9cm)
佳き気韻を寄せてくれるような、ゆるぐサンキャッチャー。そのまま飾るのも素敵だし、花を活けるとまた、別の佳き風が吹いて来そうな作品です。



虹 いちご (横7cm×縦4.5cm×奥行4cm×横に置いた時)
愛らしい虹色のいちご、ながる度に笑顔になり、優しい気持ちになれるそうです。夢見るいちごにガラスの技がつかっています。



黒豆硝子 三角花瓶(左、小のサイズ、横6.5cm×高さ15cm)
黒豆硝子のそこはかない色合いに引きつけられます。どこか懐かし、懐かし、懐かし...そんな風情の器です。多くは出会えない一期一会の色、形、佇まいがそこにあります。



黒豆硝子 長花瓶(大) (横10cm×高さ20cm)
心が洗われるような彩り豊かな花器です。花も実も枝も花器も互いに活か合い、その場の空気を明るく、豊かなものしてくれます。ワンステップ上の日常の中の赤日常。



黒豆硝子 ゆりゆり小 (横13.5cm×高さ5.5cm)
その名の通り、ゆりゆりと遊び心ある器です。手持ちが良く、ご自身のセンスで、いろんな使い道の工夫ができることがうれしい。
ゆらぎと遊び心、大切です。



いちごオブジェ(横6cm×縦4cm×奥行4cm×横に置いた時)
ガラスでいちごの質感を出す...。窓辺や玄関、食卓にさりげなく飾って楽しみたい作品です。美しい虹色が輝き、その場を明るくし、会話ははずみそうです。大切なあの方へ、いちごの輝きをプレゼントするのにも名案。

ここ3年ほど素敵なガラス展をしたいなあーと考えており、昨年オファーしたのが、「ガラス工房るん」の作品展です。センスが良く、幸せをいただくような作品群によって、ガラス展ができる運びになった事、大変嬉しく思います。全国にファンがいらして作品待ちの中、この北の街、「愛海詩」でのガラス展は心ゆれる喜びをいただいたような気にもなっております。花入れ、鉢、コップ、オブジェなど約30点を展示致します。北海道で初めての作品展です。沢山の方に見ていただき、その感動を分かち合いたく思います。

「愛海詩」下半期の予定
9月 秋を楽しむ展示会
10月7日～10月12日
ギャラリー大通美術館(札幌市中央区大通西5丁目11大五ビル) 第2回 愛海詩「職人の手技展」
10月24日～10月29日 道外出張
11月29日(土) Mo...佳い会 Vol.8(文化と出合いの灯りをともし)
12月 新しい年を寿ぐ展示会

(一社)愛海詩の情報は、会報以外にも下記、ホームページやインスタで知る事ができます。QRコードをご利用下さい。文化の灯りを消さぬよう、発信し続けております。



Instagram

ホームページ